



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年10月31日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4551 URL <https://www.torii.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 剛一  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 萩原 知仁 (TEL) 03(3231)6811  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第3四半期の業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	43,333	10.7	4,661	45.2	4,686	41.4	3,525	48.9
2023年12月期第3四半期	39,132	10.8	3,211	△21.0	3,315	△15.4	2,368	△17.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	125.43	—
2023年12月期第3四半期	84.27	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	134,612	120,087	89.2
2023年12月期	133,432	120,134	90.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 120,087百万円 2023年12月期 120,134百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2024年12月期	—	60.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,200	12.0	6,700	33.1	6,800	28.1	5,100	23.8	181.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2024年12月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	28,800,000株	2023年12月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	688,658株	2023年12月期	694,772株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	28,108,807株	2023年12月期3Q	28,102,528株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発・導入活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2023年12月期 第3四半期 累計期間 (百万円)	2024年12月期 第3四半期 累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	39,132	43,333	4,201	10.7
営業利益	3,211	4,661	1,450	45.2
研究開発費控除前営業利益	6,022	6,857	834	13.9
経常利益	3,315	4,686	1,371	41.4
四半期純利益	2,368	3,525	1,157	48.9

※中期経営計画の利益面の計数指標としては、将来の導入品獲得に向けて、当面は研究開発投資を積極的に実施することから、研究開発費控除前営業利益を設定しております。

売上高は、皮膚疾患領域及びアレルギー領域における販売数量の伸長等により、43,333百万円と前年同期に比べ4,201百万円(10.7%)増加しました。

各フランチャイズ領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「リオナ錠(高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤)」が5,888百万円と前年同期に比べ484百万円(9.0%)増加しましたが、「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」は競合品及び後発品の影響に加えて薬価改定もあり1,215百万円と前年同期に比べ795百万円(39.6%)減少しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「コレクチム軟膏(外用JAK阻害剤)」が小児向け処方を含む販売数量の伸長により6,500百万円と前年同期に比べ1,108百万円(20.6%)増加し、「アンテバート(外用副腎皮質ホルモン剤)」は3,905百万円と前年同期に比べ704百万円(22.0%)増加しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法のさらなる普及により「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は9,015百万円と前年同期に比べ1,052百万円(13.2%)増加し、「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は7,977百万円と前年同期に比べ787百万円(11.0%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したほか、為替影響及び仕入単価の上昇等により23,933百万円と前年同期に比べ2,835百万円(13.4%)増加しました。一方で、販売費及び一般管理費はライセンス契約一時金を除く研究開発費、システム関連費用及び売上連動経費は増加しましたが、前年同期において研究開発費にライセンス契約一時金を計上していたことから14,739百万円と前年同期に比べ84百万円(0.6%)減少しました。

以上の結果、営業利益は4,661百万円と前年同期に比べ1,450百万円(45.2%)増加しました。経常利益は営業外費用の投資事業組合運用損が増加したものの、営業利益が増加したことにより、4,686百万円と前年同期に比べ1,371百万円(41.4%)増加しました。四半期純利益は3,525百万円と前年同期に比べ1,157百万円(48.9%)増加しました。

なお、研究開発費控除前営業利益は6,857百万円と前年同期に比べ834百万円(13.9%)増加しました。

## (2) 財政状態

当第3 四半期会計期間末の総資産は、134,612百万円と前事業年度末に比べ1,179百万円(0.9%)増加しました。これは、有価証券が4,007百万円、受取手形及び売掛金が3,198百万円減少しましたが、投資有価証券が5,327百万円、商品及び製品が1,724百万円、投資その他の資産のその他に含まれるその他投資等が916百万円、原材料及び貯蔵品が413百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、14,525百万円と前事業年度末に比べ1,226百万円(9.2%)増加しました。これは、未払法人税等が601百万円減少しましたが、買掛金が1,838百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、120,087百万円と前事業年度末に比べ47百万円(0.0%)減少しました。これは、剰余金の配当が3,654百万円、四半期純利益が3,525百万円となったこと等によるものです。

## (3) 研究開発・導入活動

当第3 四半期累計期間の研究開発費の総額は2,196百万円です。

研究(共同)開発・導入活動の主な進捗及び成果につきましては、以下のとおりです。

(皮膚疾患領域)

アトピー性皮膚炎治療剤、尋常性乾癬治療剤「ブイタマークリーム」

(一般名：タピナロフ、開発番号：JTE-061)

- ・日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」)と日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結しており、JTが2024年6月に日本国内における製造販売承認を取得したアトピー性皮膚炎治療剤、尋常性乾癬治療剤「ブイタマークリーム1%」につきまして、2024年8月に薬価基準に収載されており、10月に販売を開始いたしました。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2024年12月期第3 四半期決算 参考資料」に記載しております。

## (4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間までの進捗状況等を勘案し、前回発表(2024年7月31日「2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を以下のとおり修正しております。

	2024年12月期 前回予想 (百万円)	2024年12月期 修正予想 (百万円)	対前回予想 増減額 (百万円)	対前回予想 増減率 (%)	(参考) 2023年12月期 実績 (百万円)
売上高	60,700	61,200	500	0.8	54,638
営業利益	6,300	6,700	400	6.3	5,035
研究開発費控除前営業利益	9,500	9,700	200	2.1	8,526
経常利益	6,400	6,800	400	6.3	5,307
当期純利益	4,800	5,100	300	6.3	4,119

※中期経営計画の利益面の計数指標としては、将来の導入品獲得に向けて、当面は研究開発投資を積極的に実施することから、研究開発費控除前営業利益を設定しております。

売上高につきましては、アレルギー領域の「ミティキュア ダニ舌下錠」及び「シダキュア スギ花粉舌下錠」の販売状況が前回予想を下回って推移している一方で、腎・透析領域の「リオナ錠」及び皮膚疾患領域の「アンテベート」の販売状況が好調に推移していること等により、前回予想を上回る見通しとなりました。

利益面につきましては、販売数量の伸長等による売上原価の増加を見込みますが、売上高の増加及び研究開発費の減少により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間120円(中間配当金60円、期末配当金60円)を予定しており、前回予想からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,004	4,995
受取手形及び売掛金	28,503	25,305
有価証券	38,999	34,992
商品及び製品	6,827	8,551
原材料及び貯蔵品	3,915	4,328
その他	4,898	4,900
流動資産合計	88,148	83,074
固定資産		
有形固定資産	2,095	2,468
無形固定資産	429	346
投資その他の資産		
投資有価証券	33,970	39,297
その他	8,788	9,424
投資その他の資産合計	42,758	48,722
固定資産合計	45,284	51,537
資産合計	133,432	134,612
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,981	8,820
未払法人税等	1,151	549
賞与引当金	422	916
役員賞与引当金	15	20
その他	3,932	3,225
流動負債合計	12,504	13,532
固定負債		
退職給付引当金	478	392
その他	315	599
固定負債合計	794	992
負債合計	13,298	14,525
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,460	6,473
利益剰余金	109,425	109,296
自己株式	△1,369	△1,357
株主資本合計	119,706	119,602
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	427	484
評価・換算差額等合計	427	484
純資産合計	120,134	120,087
負債純資産合計	133,432	134,612

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	39,132	43,333
売上原価	21,098	23,933
売上総利益	18,034	19,400
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,161	1,251
給料及び手当	3,077	2,914
賞与引当金繰入額	762	812
研究開発費	2,811	2,196
その他	7,010	7,563
販売費及び一般管理費合計	14,823	14,739
営業利益	3,211	4,661
営業外収益		
受取利息	212	250
受取配当金	56	53
その他	16	18
営業外収益合計	285	322
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	142	28
投資事業組合運用損	37	258
解約違約金	0	—
その他	0	10
営業外費用合計	180	296
経常利益	3,315	4,686
特別損失		
固定資産除却損	2	17
特別損失合計	2	17
税引前四半期純利益	3,312	4,668
法人税等	944	1,143
四半期純利益	2,368	3,525



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社は、医薬品事業の他に不動産賃貸収入がありますが、重要性が乏しいことからセグメント情報については記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社は、医薬品事業の他に不動産賃貸収入がありますが、重要性が乏しいことからセグメント情報については記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	338百万円	299百万円